

新技術活用システム検討会議が選定

推奨技術(23件)

公共工事等に関する技術の水準を一層高めるために選定された、画期的な新技術。

準推奨技術(53件)

公共工事等に関する技術の水準を一層高めるために選定された、画期的だが、更なる発展を期待する部分がある新技術

評価促進技術(5件)

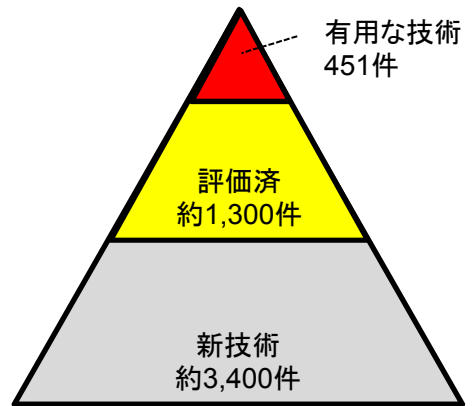
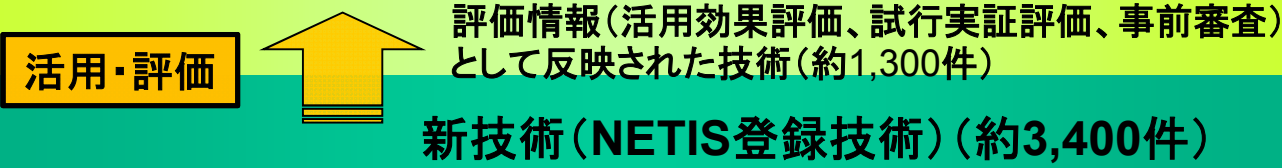
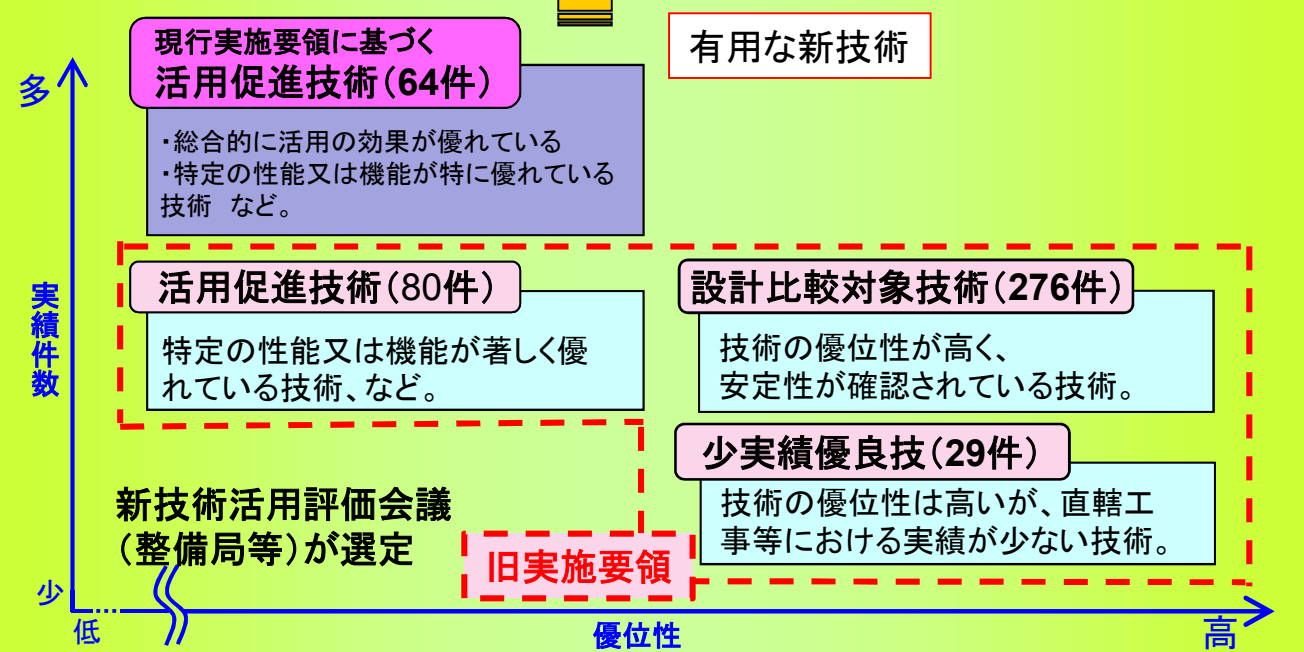
他機関等の実績に基づき、公共工事等に関する技術水準等を高めることが見込める技術 (平成26年度より選定)

- 選考要件
- 従来に比べ飛躍的な改善効果を発揮
 - 先駆的な取り組みであり幅広い活用が期待される
 - 技術内容が画期的で将来飛躍的な効果の改善が期待できる
 - 国際的に先端を行く技術、先進諸国への技術展開の期待
 - 応用性が高く、国際的な課題の解決に資する
 - 一般化・標準化に向けて活用を促す

有用な新技術のインセンティブ

- 工事発注時の総合評価方式での加点(当該工事へ効果が見込まれるもの)
- 工事成績評定での加点(発注者指定型を除く)
- 設計業務の比較検討において対象技術となる(共通仕様書に規定) 等

新技術活用システム検討会議に推薦



選定件数は平成27年4月時点